



ダッシュ

NPO法人目黒体育協会会報 発行編集/NPO法人目黒体育協会

発行日/平成29年1月31日

新

『みんなでつくろう体育協会 生きがいと健康の輪』

春

NPO 法人目黒体育協会 スローガン



『心が一つになった目黒シティランと体協』

NPO法人目黒体育協会

会長 藤岡 直彦



新年おめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

今期のスポーツイベントで最大、最高であったのはなんとといっても目黒シティランです。11月の秋風の吹く中暑くも寒くもなく、心配された雨も降らず、いよいよスタートを切る段になり、王貞治氏がスタート台に立ち右手を挙げたその瞬間、ウオーという何とも言えぬうねりが聞こえました。過去にこんな盛り上がりを見せたイベントがあったでしょうか？総勢3,000名を超える参加者とスタッフ全ての皆様の心が一つになったイベントといっても過言ではありません。体育協会からも約400名がボランティアとして支えることができました。また各加盟団体の積極的な協力があったこそと改めて御礼申し上げます。



また、体育協会のイベント第一弾としましては2月25日にスポーツ振興課の皆様、スポーツ推進委員協議会の皆様のご協力をいただき、第2回目となる「綱引き大会」を開催致します。その他、各体育館の皆様のお力を頂きながら、目黒区体育祭開催に向けて現在準備をしているところです。更に昨年に引き続き「都民大会」での上位入賞という目標も掲げ、各競技団体の皆様にはより一層の奮起が期待されます。本年も区民の皆様へのスポーツ振興と健康づくりの拡充に努めて参りますので、ご協力の程宜しくお願い致します。



『年頭の「あけび」』

目黒区長 青木 英二



明けましておめでとうございます。

目黒体育協会の皆様には、目黒区体育祭をはじめ、各種スポーツ行事へのご協力、スポーツを通じた区民の健康づくりや青少年の健全育成、さらには中央体育館や砧球技場の指定管理業務など、目黒区におけるスポーツ振興の中心的役割を担っていただいております。皆様方のスポーツ振興への熱意と日々のご努力に深く敬意を表し、御礼申し上げます。

さて、昨年は南米初のオリンピックとパラリンピックがリオデジャネイロで開催され、日本代表選手が大活躍しました。目黒区にゆかりのある選手も多く、その活躍にスポーツの素晴らしさを感じることが出来ました。

そして2020年にはオリンピック・パラリンピック競技大会が東京で開催されます。世界のトップアスリートを見ることが、スポーツ関係者に限らず貴重な機会になると思います。

この気運を盛り上げるため、区では昨年11月に「目黒シティラン」を開催しました。目黒体育協会をはじめ、地域の多くの方々に協力いただき、3,000人以上のランナーが区内幹線道路を駆け抜けることができました。

今年も、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた気運醸成や、スポーツを通じた健康の保持増進を図ってまいります。

結びになりますが、目黒体育協会の皆様にはご自身の健康にも十分にご留意いただき、今後ともご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお願いたします。

『人生の糧となる力を！』

目黒区教育委員会

教育長 尾崎 富雄



日頃より、目黒区体育祭や中学生「東京駅伝」大会等、目黒区の子どもたちのスポーツ振興にご尽力を頂き、心より感謝申し上げます。

教育委員会といたしましては、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を「子どもたちの健やかな心身を育む上で重要な機会」であると捉え、子供たちが個々の目標を立てて、体力を向上させる力や健康づくりにより自発的に取り組む態度を養う教育を推進しております。



今後も体育科、保健体育科等の授業の工夫をはじめ、各家庭と連携した取組を充実するとともに、オリンピック・パラリンピック教育を一層推進してまいりますので、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

『平成29年度に向けて』

目黒区文化・スポーツ部長

上田 広美



目黒体育協会の皆様には、日ごろから目黒区のスポーツ振興に多大なるご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

昨年11月に実施いたしました「目黒シテイラン」では、藤岡直彦会長を始め体育協会の多くの方々のご協力をいただき、無事に終えることができました。誠にありがとうございます。

また、昨年は、長年の懸案でございました中央体

育館の大規模改修も決まり、本年は設計等本格化する予定でございます。指定管理者でもある体育協会の皆様からも、ご意見をいただきながら、後世に胸を張って残せる体育館にしたいと考えております。今後とも、スポーツを通してふれあいと活力のあるまちを目指して、体育協会の皆様とともに様々な取組を進めてまいります。29年度もよろしくお願いたします。



『更なる飛躍を目指して』

目黒区立中央体育館

館長 金山 和也



あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年も地域の『健康づくりの拠点』『各団体のスポーツ活動の場』として、安全で、皆様に喜ばれる施設運営を目指して活動していきます。



また当館では、幅広い層の利用者の方々に対応できるように『だれでも・いつでも・いつまでも』を基本理念に、スタッフ一同、より一層の努力をしております。どうぞ、皆様の変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。



『週1回、お近くの体育館で運動を！』

目黒区立区民センター体育館

館長 井川 真弓



目黒体育協会の皆様には、日頃より多大なるご協力を頂き、心から感謝申し上げます。

指定管理者ミズノグループとして、目黒区民センター体育館の運営に携わって10年目を迎えます。目黒区スポーツ振興課を始め、スポーツ推進委員協議会の皆様にご協力頂き、「運動を通じて地域の皆様に元気を提供し、笑顔あふれる施設づくり」を目指してまいりました。「気軽に運動を始められ、楽しく続けられる場所」「地域の方々との交流を深められる場所」として、今後、も地域の方々に愛される体育館であり続けられるよう、職員一同運営に努めてまいります。

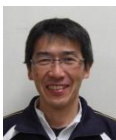


2017年は、「週1回、お近くの体育館で運動を！」を合言葉に、運動のきっかけづくり・継続サポートを行ってまいります。ご協力とご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

『スポーツ推進、TOKYO2020に向けて』

目黒区立駒場体育館

館長 幕田 賢伸



日頃よりスポーツ振興及び体育館公開種目、教室の指導にご尽力いただきまして心より感謝申し上げます。

昨年はリオデジャネイロにおいて南米初のオリンピック・パラリンピックが開催され、史上最多となるメダル獲得の他、日本選手の活躍に大いに沸きあがり元気をもらいました。また、区では初の公道

マラソン開催と、「する」スポーツも充実した1年であつたと思います。



本年、地域スポーツの拠点となる体育館では、幼少児童から学童、高齢者、障がい者のスポーツ参加促進のため、一般公開や教室を充実し、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、「見る、する、支える」スポーツの推進に努力してまいりたいと思います。今後とも、体育協会の皆さまのご指導、ご協力をよろしくお願い致します。



『総合型地域スポーツクラブが目指す』

区立体育館と地域避難所の役割』

指定管理者NPO法人スポルテ目黒
目黒区立碑文谷体育館

館長 長谷川 佳文



謹んで新年のお祝いを申し上げます。

旧年中は「碑文谷体育館」及び「総合型地域スポーツクラブ NPO法人スポルテ目黒」において、ひとかたならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございました。一般公開事業の企画運営では、土曜日のバスケットボールでは100名を超える参加をいただき、音楽体操・トリム体操など高齢者の多い事業でも、こころ配りで参加者から喜ばれています。一方、バレーボールでは若い参加者が増え、なぎなた・剣道では子ども教室から一般公開へと進まれる方も多く、活気が有ります。皆様のお陰で無事に新しい年を迎えることができました。

平成29年、指定管理者として10年目という節目の

年でございます。私たち職員一同「心からのおもてなし」「思いやり」という基本に立ち返って、日々の「安心」「安全」を心がけ取り組んで参りたいと存じます。

また、総合型地域スポーツクラブ

NPO法人スポルテ目黒も、地域に支えられ順調に12周年を終えました。今後も前を向いた活動を進めて参ります。災害時には、地域の拠点として住民の方々と共に「避難所」としての役割を確立して行く所存です。

本年も変わらぬお引き立ての程、よろしくお願ひ申し上げます。

『地域の皆様へ』

目黒区立八雲体育館

館長 神田 哲也



年頭にあたりご挨拶を申し上げます。NPO法人目黒体育協会関係者の皆様には、日頃より体育館運営にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



今年には八雲体育館開設から十五年、目黒区の指定管理者制度導入から十年という節目の年となります。体育館運営においてはこれまで、地域の皆様へ運動・スポーツ活動の機会を幅広く提供することを第一に事業を

企画してまいりましたが、イベントの開催にあたっては、関係する多くの皆様にご協力いただき、都度、「地域のもつ力」を実感しております。



節目の年として、我々の運営が地域の多くの方々を支えられ成り立っているという原点に立ち返り、運営に従事してまいりたいと思います。

『グラウンドの台風被害』

目黒区立砧野球場・サッカー場

場長 村山 嘉一



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかな新春をおむかえのことと、お慶び申し上げます。

さて昨年は、砧野球場・サッカー場にとつて、大変な一年となりました。多摩川の河川敷に位置している当グラウンドは、昨年9月、台風9号の大雨により、2年連続して多摩川の出水



「大雨による被害状況」

による被害を受けたのです。そのためグラウンドの土の流出、ヘドロやゴミ等の漂着物の大量堆積で施設は使用中止を余儀なくされました。

しかし、大量のゴミを片付け、グラウンドの土を埋め戻す復旧工事の中で、8人制サッカーのポイントなど新規に増設して皆様のご期待に添えるよう、リニューアルいたしました。ご利用者様のことを常に考え、多くの方にご利用して頂けるようこれからも努力して参ります。



「こんなにきれいになりました」



第1回目黒シティラン ～ 健康マラソン大会～

昨年11月27日、目黒シティラン実行委員会主催の初の公道を走る健康マラソン大会が行われました。当日心配された雨も降らず、曇り空の元でも冷え込むこともなく、終始絶好のコンディションの一日となり、目黒体育協会では多くの加盟団体がボランティアとして参加いたしました。

『シティランのボランティアに参加して』

◆目黒で初めてのシティランに第二給水所のボランティアとして参加しました。みんなで机を出したり給水のコップに水を入れて準備しました。用意ができて時間も余裕があつて同じ場所の創作



「スタート前は、スタッフも緊張します」

和太鼓「暁鼓遊」の演技も楽しめました。実際にランナーが通過していくと先頭数名は給水せず、ちょっと拍子抜けでしたがその後は次々に給水されて、補充やら運悪く道路に落ちたコップの回収と大わらわでした。

私達が所属するアーチェリーは個人競技で普段は「友はライバル」という関係ですが、みんなで一致して作業するのはとても楽しい時間でした。



「給水所の後方では和太鼓が盛り上げます」

アーチェリー協会 磯 敏雄

に参加して感じたのは、ボランティアの集合から大会が終わるまで、緊張感の中にも和やかな空気が漂い終始とてもいい雰囲気であった事でした。重責を担った区の職員の方や本部ボランティアの方の各部所への指示・フォローがしっかりしていて、私たち末端のボランティアも安心して積極的かつ自主的に行動が出来ました。



「ミニマラソンも真剣そのもの」

更に、ランナーや応援の方々にも笑顔で挨拶を返して頂いたり、スタート誘導の際に参加者の方からハイタッチを求められたりもして、主催者と参加者・応援の方々との間で一体感を強く肌で感じる事が出来ました。

「また来年も！」と思える素晴らしい大会であった事は間違いありません。目黒シティマラソンの最初の第一歩に携わせて頂いた事、とても貴重でいい思い出となりました。

柔道連盟 富士元 昌彦

◆今回私はミニマラソン、ウォーキングが行われた中目黒小学校で会場案内、入場者やフィニッシュランナーの誘導をメインに担当致しました。ボランティア



「フィニッシュ地点ではスタッフがお出迎え」

▼体協事務局からのお知らせ
体協の事務局長が変わりました。
新事務局長 熊谷 直樹
どうぞ宜しくお願い致します。

★賛助会費の御礼(1月末現在)
左記の方から賛助会費を頂きました。
厚く御礼申し上げます。
【個人】天野 聡士(バドミントン協会)



平成29年度 目黒体育協会行事予定

4月20日(木)通常総会
4月28日(金)都民大会結団式
5月7日(日)都民大会開会式
6月24日(土)目黒区体育祭閉会式
& 都民大会解団式
9月10日(日)目黒区体育祭開会式

訃報

目黒区スキー連盟理事長であり、体協正会員として永年目黒区のスポーツ振興に貢献されてきた坂田進様(享年65歳)が十月三十日に逝去されました。これまでの故人のご功績を称えんと共にここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

合掌